



飯塚市 産学官産業共創ビジョン

Nextトライバレー

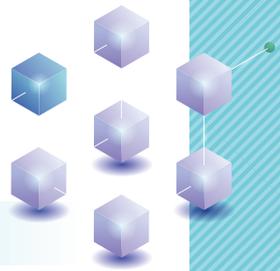
～ブロックチェーン技術を核とした新産業の創出～

2022～2026

飯塚市 産学官産業共創ビジョン

目 次

1. ビジョン策定の趣旨	2
(1) 背景	2
(2) 経緯	2
2. ビジョンの位置づけ	4
(1) 目的	4
(2) 策定の意義	4
(3) ビジョンの体系	4
(4) 本ビジョンの計画期間	5
3. ビジョンの目指す姿	5
4. 施策の方針	6
5. 施策の柱	6
Ⅰ ブロックチェーンの裾野の拡大	7
Ⅱ ブロックチェーンビジネスの開発	8
Ⅲ ブロックチェーンを核とした 新産業創出エコシステムの形成	9
6. ビジョンの推進体制	10
【参考資料】	10



1 ビジョン策定の趣旨

(1) 背景

飯塚市は、平成15年度から、5年間を1つのステージとして「e-ZUKAトライバレー構想 新産業創出ビジョン第1ステージ」を策定し、平成20年度からは第2ステージを、平成25年度からは第3次の「飯塚市新産業創出ビジョン」を策定し、九州工業大学情報工学部及び近畿大学産業理工学部の2校の理工系大学の大学力を活かし、IT企業や技術者の誘致などの情報産業都市づくりを推進し、ITを活用した地域産業の活性化と地域資源をエンジンとした新産業の創出を進めてきました。平成30年度からは、「e-ZUKAトライバレー構想」の流れを汲みつつ、平成28年4月1日施行の飯塚市中小企業振興基本条例に基づく包括的な産業振興実現のため「飯塚市産業振興ビジョン」を策定しました。

(2) 経緯

包括的な産業振興を進めるなか、ブロックチェーン技術の取組を新たに開始し、これまでに、ブロックチェーン企業の集積機能の強化を図る、飯塚ブロックチェーンストリート構想や、行政手続きにおける各種証明書の電子交付に関する実証事業、ブロックチェーン技術を活用した技術開発に係る事業支援を行い、産学官の連携体制の構築を図りながら良質なコミュニティを形成してきました。

このような状況のもと、令和3年11月には、産学官を代表し、飯塚市長が「飯塚市ブロックチェーン推進宣言」を発出しました。国におけるデジタル化の推進や福岡における国際金融機能誘致等の動きを好機と捉え、飯塚市の産学官が結集し、相互に連携を図りブロックチェーン技術の振興に取り組むことを宣言しました。



飯塚ブロックチェーンストリート構想



飯塚市ブロックチェーン推進宣言

飯塚の産学官による 飯塚市ブロックチェーン推進宣言

～世界のブロックチェーンをリードする都市・飯塚へ～

福岡県の中心に位置する飯塚市は、かつてエネルギーの主役であった石炭の採掘のまちとして、日本の成長を支えてまいりました。

炭鉱閉山後は、産業構造の変革に着手し、情報産業都市を目指して、大学・企業と連携した新産業創出に取り組んでまいりました。大学が輩出する人材が起点となり、飯塚市にはIT関連のベンチャー企業やイノベーション拠点が集積し、良質なコミュニティを形成しています。

近年は、この基盤をもとに、ブロックチェーンストリート構想を皮切りに、民間企業が主導となってブロックチェーンの取り組みが盛んになってきています。

このような流れを受け、飯塚市では福岡県と連携して、ブロックチェーン産業の振興を進めております。IT企業に対する新製品の開発や実証の支援、大学と連携したブロックチェーン技術者の育成などに取り組む、新たな成長の芽と期待されるブロックチェーン分野への企業の参入と企業進出を促進しているところです。

一方で、日本国内においては、新型コロナウイルス感染拡大による社会変化を受け、テレワークなど拠点分散のニーズが高まっており、相対的に郊外都市のポテンシャルが上昇していると言われます。飯塚市は、福岡・九州・全国の「集中から分散へ」の流れを受け止めることができます。

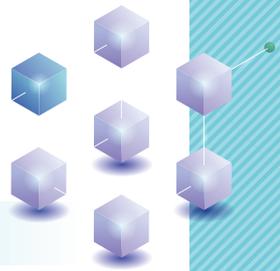
また、福岡においては、昨年、Team Fukuokaによる国際金融機能誘致の方向性において、重点的に誘致する業種・業態として「Fin Tech」が盛り込まれました。飯塚市のブロックチェーン集積はその誘致の核となりえます。さらに、福岡のスタートアップエコシステム拠点形成においても、飯塚市は連携都市として位置づけられています。このように、飯塚は福岡の国際競争力を高めるキープレイヤーとして、オール福岡から期待されているところです。

このような全国・福岡の動きを好機と捉え、これまでの飯塚におけるブロックチェーン取り組みを活かしながら、さらに広げていくため、本日ここに、飯塚市の産学官が連携してブロックチェーンを強力に推進していくことを宣言します。

この宣言が目指すものは、飯塚の経済発展に留まるものではありません。かつて日本を支えた石炭のまちが、半世紀をこえて、日本を支えるブロックチェーンのまちとして進化することを、飯塚から世界へ発信し、福岡、九州、ひいては日本の発展に貢献することを目指すものです。

令和3年11月15日

飯 塚 市 長 片 峯 誠
飯 塚 商 工 会 議 所 会 頭 麻 生 泰
九州工業大学情報工学部学部長 安永 卓生
近畿大学産業理工学部学部長 江上 典文



2 ビジョンの位置づけ

(1) ビジョン策定の目的

ブロックチェーン技術は複数の既存情報技術を組み合わせることで新たな用途や価値を創出することに成功した基盤技術であり、様々な情報技術や産業要素を必要とする先端成長産業です。飯塚市がブロックチェーンに取り組むことで期待する効果は、情報産業都市づくりの地盤を活かしたブロックチェーン技術を活用した新産業の創出及び新産業創出の土壌となる産学官のネットワーク強化を実現することにあります。

本ビジョンは、ブロックチェーン技術を核とする新産業の創出について、その実現に向けた施策の方向性を示すための行政計画として策定します。

(2) 策定の意義

関係者で産学官産業共創の方向性を共有します。

■令和4年度から5年間の飯塚市における産学官連携によるブロックチェーンを核とした新産業創出の方向性を共有するためにビジョンを策定します。

飯塚市の新産業創出に対し、産学官が当事者意識を持った推進体制を構築します。

■ビジョンの策定過程及び進捗管理を通して、産学官が当事者意識を持って飯塚市の産業を考え、実施するビジョンの推進体制を構築します。

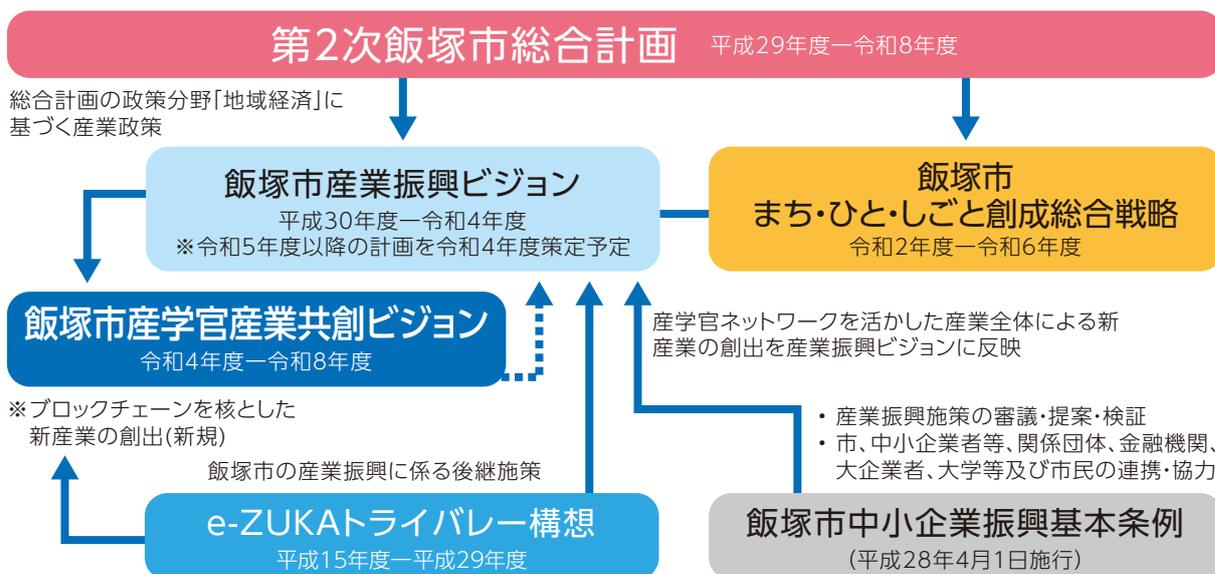
オール飯塚で新産業創出に挑戦します。

■市内2校の理工系大学と学生、その学生が起業したIT企業、これまでの取組により活躍している市内企業・技術者が多数在籍している知的ポテンシャルと産学官ネットワークを最大限に活かし一丸となって、飯塚市における新産業創出に挑戦します。

(3) ビジョンの体系

飯塚市産学官産業共創ビジョンは、e-ZUKAトライバレー構想の延長線上に位置し、飯塚市産業振興ビジョンにおけるブロックチェーン技術を核とした新産業の創出に関する個別計画です。本ビジョンを通して産学間相互の成長を促し、人材の強化、企業力の向上及び学生の活躍の場づくりなどの産業の成長基盤を醸成し、飯塚市産業振興ビジョンに活かされます。

(ビジョンの体系)



(4) 本ビジョンの計画期間

本ビジョンの計画期間は令和4年度から令和8年度の5年間とします。

3 ビジョンの目指す姿

目標像 Nextトライバレー ～ブロックチェーン技術を核とした新産業の創出～

e-ZUKAトライバレー構想で培った産学官連携の土壌を活かして、ブロックチェーン技術を活用した取組を推進することにより、産学官ネットワークの強化と新産業の創出を実現します。

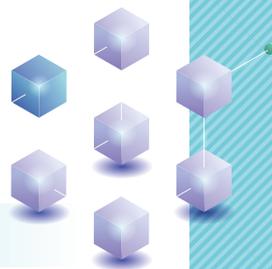
ブロックチェーン技術は先端成長産業として、多様な展開分野が期待される基盤技術です。飯塚市内に在籍する技術者や研究者、学生などの人材が持つ多様な情報技術に関する知見や蓄積されたノウハウなどの知財を活かし、産学官の多様な連携による製品開発や共同研究、実証事業等の事業化を実現します。これらを連続的かつ持続的に実行することで、産学官ネットワークを活かした新産業創出のエコシステム(産学官それぞれのリソース(資源)が共存し、相互の連携や繋がりによって新たな産業を生み出す体制)の形成を図ります。



九州工業大学情報工学部



近畿大学産業理工学部



4 施策の方針

本ビジョンに基づく計画実行により、産業全体における産学官ネットワークを強化するとともに、新産業創出の土壌となる飯塚市独自のエコシステムの形成を図ります。

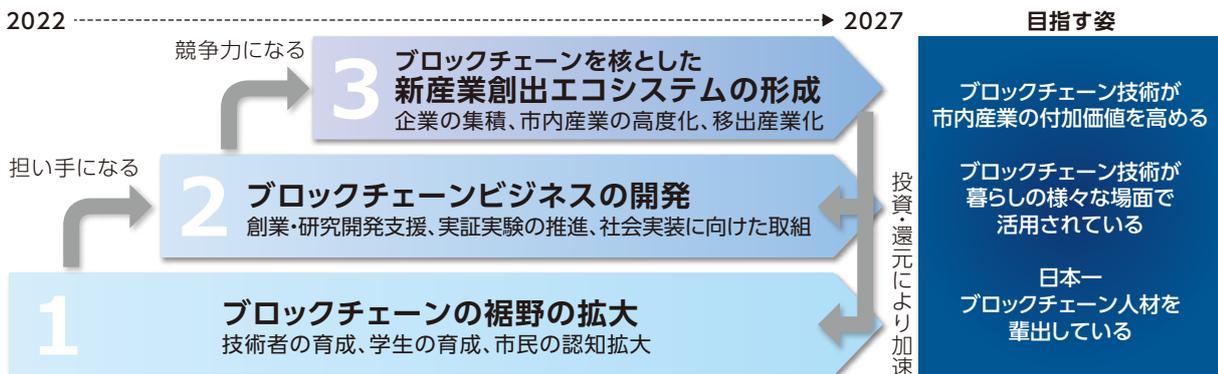
- ①ブロックチェーン技術に係る人材の育成に取り組み、知見や蓄積されたノウハウなどの知財の醸成を図ることで、ブロックチェーン関連企業の集積と成長を図ります。
- ②産学官の多様な連携により、研究開発や実証事業等を通じ事業化を図ります。
- ③人材育成と事業開発の基盤を飯塚の競争力とし、ブロックチェーンを核とした新産業創出エコシステムを形成します。

5 施策の柱

「裾野の拡大」「ビジネスの開発」「エコシステムの形成」の3つのステップで、新産業創出を実現します。

＜「ブロックチェーンを核とした新産業の創出」のステップイメージ＞

Nextトライバレー～ブロックチェーンを核とした新産業の創出～



まずは、人材育成や市民への普及啓発等に取り組むことで、ブロックチェーン技術に携わる人の裾野を広げ、「ブロックチェーン推進都市」の担い手を育てます。

次に、ブロックチェーン技術を活用した事業創出に取り組みます。創業・研究開発の支援、実証実験を通じて事業化可能性を高めるとともに、案件によっては規制緩和などを行って、ブロックチェーンビジネスの確立を図ります。

これらの取組を連続的かつ持続的に推進しながら、取組を通じて確立された人材育成と事業創出の基盤を飯塚の競争力とし、域外から人材や新規事業や企業の参入を促し、ブロックチェーン関連企業の集積を図るとともに、ブロックチェーン技術の展開による市内産業の高度化、ひいては移出産業化（ノウハウの域外輸出）へとつなげます。

そして、獲得されたリソースを人材育成や創業・研究開発に投資・還元することにより、事業展開がさらに加速するという好循環を生み出します。

ブロックチェーン技術は先端成長産業であるが故に、国内において、ブロックチェーン技術の開発や普及等の技術革新を担う人材は不足しており、育成のためのカリキュラムも十分でない状況です。また、ブロックチェーン技術が暮らしの様々な場面で活用されるためには、技術だけでなく、法制度や金融といった社会実装に必要な知識や多角的な視座を備えた専門人材の育成、そして市民のブロックチェーンに対する理解醸成が必要です。飯塚市では、産学官の連携により、様々な人材育成プログラムや普及啓発に取り組めます。

基本施策(1) 技術者の育成

市内企業及び研究機関等における高度人材教育や、大学のリカレント教育等と連携した人材の掘り起こし・学び直しを推進するとともに、各団体が取り組む人材育成プログラムを連携させ、一連のパッケージとして発信することで、「ブロックチェーンエンジニアの育成ができるまち」としての魅力創出を図ります。

基本施策(2) 学生の育成

飯塚市に在籍する大学生に向けたブロックチェーン技術の教育を促進し、飯塚市からブロックチェーン技術の知識と技能に長けたエンジニアを輩出します。大学生と企業の交流を促進し、大学生の持つ感性やアイデアを活かしたブロックチェーン技術の振興を図ります。

また、市内小中学校のキャリア教育と連動し、ブロックチェーン技術に触れる学習機会を創出し、飯塚市におけるブロックチェーンの利活用を促進します。

基本施策(3) ブロックチェーンに対する市民の認知拡大

飯塚市における産学官の連携、人材(学生・技術者及び研究者)の育成、IT企業が集積及び飯塚市で生まれる様々なプロジェクト等のブロックチェーン技術関連動向について、一元化した情報発信媒体の構築や認知活動に取り組み、市民のブロックチェーン技術に対する理解醸成を図ります。

基本施策(4) ブロックチェーン推進都市の拠点形成

大学やブロックチェーンストリートを中心に、ブロックチェーン推進のための拠点を形成し、人材育成や事業開発の環境を強化します。

また、「飯塚ブロックチェーンストリート構想」では、豊かな暮らしの中で先端情報技術に向き合う環境を実現する「暮らしフルネス」の考えのもと、学生や技術者、研究者が飯塚で暮らし学び働きたくなる環境づくりに取り組めます。



e-ZUKAトライバレー産学官交流研究会(ニーズ会)



BA(Blockchain Awakening)



聴福庵

施策の柱

II

ブロックチェーンビジネスの開発

ブロックチェーン技術は、インターネットと同様に基盤技術であり、先端成長産業として期待されるものの、ビジネスモデルの確立は未だ途上にあります。また、多様な分野への応用が見込まれますが、その実装においては様々な法規制が障壁となる場合も考えられます。そのため、飯塚市では、創業・研究開発、実証実験、規制緩和など、事業開発の段階に応じた様々な支援を行って、ビジネス開発に取り組みます。産学官の多様な連携とともに市産業全体を巻き込んでブロックチェーン技術を活用したビジネスの振興を図ります。

基本施策(1) 創業・研究開発の支援

前項の人材育成施策とも連動しながら、市内インキュベーション施設を活用した起業・創業を支援します。また、産学官のつながりを活かし、相互の交流を促進することで、飯塚市で起業・創業する事業者をより強力に応援します。

また、ブロックチェーン技術の実用化に向けた取組の助成など、市内における研究開発の支援を行います。

先端情報技術に関し、都市圏と同じように飯塚市で創業・研究開発に取り組める環境をつくり出すことで、飯塚市の新たな魅力を創出します。

基本施策(2) 実証実験の推進

飯塚市の強みである産学官のフィールドやリソースを活かし、実証実験の実施を強力に支援し、事業創出を促進します。また、飯塚市と関係機関が連携し、企業や大学とのマッチング支援に取り組むとともに、市内における技術開発への支援を行います。



電子交付実証実験

基本施策(3) 社会実装に向けた取組

特区制度や規制のサンドボックス制度など国の施策・規制緩和との連携も視野に入れ、ビジネス開発をさらに推進するとともに、実証等を通じた課題抽出と先導的なユースケースの構築により、ブロックチェーン技術の社会実装に向けたルールメイキングに貢献します。



トライバレーセンター

ブロックチェーン技術は基盤技術であることから、応用領域は幅広く、産業間の共同開発や産学共同研究、域内外の企業との連携を通じて、多様な分野での事業創出が期待されます。国の目指す成長戦略(グリーン×デジタル、デジタル田園都市国家構想など)もとらえ、前掲の施策で確立される担い手や事業開発の基盤を飯塚の競争力とし、ブロックチェーン技術の知見や蓄積されたノウハウなどの知財や人材を集積させ、新産業を創出するエコシステムの形成を図ります。

基本施策(1) 企業集積

産学官のネットワークを活用し、ブロックチェーン技術に関心のある個人または企業に対する相談窓口を設置します。具体的連携案や技術力の有無に関わらず、成長段階に応じた相談・支援が受けられる窓口とし、域外の企業や新規事業等の参入を促進します。

また、ブロックチェーン関連のコンテンツ発信、産学官ネットワークなど、市内における実績や強みを効果的に周知し、域外の企業や技術者、プロジェクトの参入を図ります。併せて飯塚市へのサテライトオフィス誘致等の拠点参入を促進し、プロジェクトから派生する新規プロジェクトの創出など、多様な集積を図ります。

基本施策(2) 市内産業の高度化

農産品のトレーサビリティ、CO₂削減のサステナビリティ、著作権管理など、ブロックチェーン技術を活用した取組のさらなる展開や、市内をフィールドとする実証事業への市内企業の参画を推進し、ブロックチェーン技術の活用による市内産業全体の付加価値向上を図ります。

また、地域課題である市内企業の生産性の向上、人材不足の解消、技術伝承及び多様な働き方等について、情報技術を活用して解消するに際し、企業経営層をはじめ、デジタル部門の担当者などの情報技術の理解が重要であり、中小企業のデジタル化を担う人材の育成・強化が必要です。共同開発や実証事業への参画を促進し、実体験を通じたブロックチェーン技術等の情報技術の理解浸透を図ります。これにより、各産業分野におけるブロックチェーン技術の活用検討や課題抽出、課題解決を促進します。

基本施策(3) 移出産業化

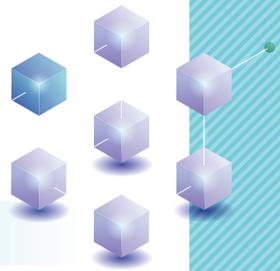
福岡県内における自治体・公的機関・民間団体との連携を強化し、オール福岡で取り組んでいる国際金融機能誘致や福岡市を核としたスタートアップエコシステム拠点形成とも連動しながら、ブロックチェーン技術を核とした新産業の移出産業化を図ります。



テクノスジャパン・九州工業大学共同研究



FUKUOKA BLOCKCHAIN ALLIANCE



6 ビジョンの推進体制

本ビジョンは飯塚市新産業創出産学官連携推進協議会において進捗管理を行います。今後5年間に於いて、ビジョン策定時には想定していないような大きな経済・社会の変化が生じる可能性があります。このような変化が生じた場合には、飯塚市新産業創出産学官連携推進協議会において対応策を検討するとともに、飯塚市中小企業振興円卓会議との連携体制を構築し、飯塚市産業振興ビジョンとの連動を図ります。

【参考資料】

本ビジョンの策定にあたり、飯塚市新産業創出産学官連携協議会を3回開催し、委員各位よりビジョンの方向性や施策の内容について意見交換を行いました。

■飯塚市新産業創出 産学官連携協議会の開催

【第1回】

- 日時 令和3年11月30日
- 議題 ビジョン全体像の共有
ビジョンの骨子

【第2回】

- 日時 令和3年12月20日
- 議題 ビジョンの素案について

【第3回】

- 日時 令和4年1月24日
- 議題 ビジョンの素案について

■飯塚市新産業創出 産学官連携協議会委員(敬称略)

- | | |
|---------|--------|
| 委員長 | 石丸 修平 |
| 副委員長 | 梶原 誠司 |
| 委員(順不同) | |
| | 山崎 重一郎 |
| | 正田 英樹 |
| | 野見山 広明 |
| | 小友 康広 |
| | 香月 法彦 |
| | 設楽 悠介 |
| | 見雪 和之 |



飯塚市産学官産業共創ビジョン2022～2026

令和4年3月発行

発行：飯塚市経済部産学振興課

〒820-8501福岡県飯塚市新立岩5番5号

TEL(代表)0948-22-5500(内線1452)

E-mail : sangaku@city.iizuka.lg.jp